

実施計画事業名		保健休養林活用事業		評価対象年度	平成 22 年度				
評価担当部署		建設産業部 農政課		課長(主幹)名	相馬 義則				
総合計画体系	分野	5	産業振興						
	政策	1	自然を活用した産業の体質強化						
	施策	3	林業の振興を図ります						
	関連施策								
現状と課題	森林が持つ保健休養という公共的機能を提供するため、本市では稚内公園内と下勇知に2ヶ所の森林公園を設置している。特に、稚内公園内は夏の間、多くのキャンパーで賑わいを見せている。								
目的	緑豊かな森林公園を訪れた人たちに、森林浴を楽しめる憩いの場を提供する。								
5ヶ年開の	木や森の大切さや暮らしと木の関わりなど、木に関する理解を深める木育の取組みを進める。稚内市森林公園(稚内公園内)、下勇知森林公園の2ヶ所の森林公園を適切に管理運営するとともに、利用を推進する。								
成果指標	名称		単位			21 年度	22 年度	25 年度	
	森林公園利用者数		人		目標	6,150	6,250	6,600	
説明	稚内市森林公園の利用者数(延べ)				実績	6,169	6,526		
活動指標	名称		単位			21 年度	22 年度	25 年度	
	森林公園開設日数		日		目標	184	184	184	
	説明	稚内市森林公園の開設日数				実績	184	184	
					目標	-	-	-	
	説明					実績			
					目標	-	-	-	
	説明					実績			
					目標	-	-	-	
説明					実績				
事業費の実績		単位	21 年度 (決算)	22 年度 (評価年度決算見込)	23 年度 (予算)	備考			
	直接事業費(A)		千円	4,174	4,196	4,196			
	国庫支出金		千円	0	0	0			
	道支出金		千円	0	0	0			
	起債		千円	0	0	0			
	その他		千円	0	0	0			
	一般財源		千円	4,174	4,196	4,196			
	この事業にかかる職員数		人/年	0.30	0.15	0.15			
人件費(B)		千円	2,078	1,019	1,019				
計(A+B)		千円	6,252	5,215	5,215				
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化								

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	<b>a</b> a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	<b>a</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	<b>a</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
コスト効率	<b>a</b> a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総合評価	<b>A</b> 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 森林公園キャンプ場の利用は、市街地に近く、無料ということもありロコミ等で利用者が多く、長期に滞在して観光などの拠点として利用する姿も見受けられる。今後も、適切に森林環境を保全して、市民や観光客に憩いの場を提供する。

【2次評価】

成 果	<b>a</b>	細事業の構成	<b>a</b>	細事業の進め方	<b>a</b>	コスト効率	<b>a</b>
総合評価	<b>A</b> 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおり取り進めること。						

【内部評価委員会】

意見	
----	--